

## 【学校で起きた場合】校舎内から校庭へ避難（雨天時は中村小体育館へ避難）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・速やかに本部設置する。（正確な情報収集と的確な指示）</li> <li>・安否確認一覧表で児童生徒の所在及び安全を確認する。</li> <li>・児童生徒の留置き、引取り依頼を保護者に発信する。（右のとおり：一斉メール配信、学校携帯サイト掲示板、災害用伝言ダイヤルなど）</li> <li>・市教育委員会、南区の災害対策本部及び保護者と連絡を取る。</li> <li>・災害時用食料3日分、小型発電機5台、非常用自転車5台等必要物品の展開</li> </ul>	
津波の場合	スロープを使って、中村小の屋上へ車いすで移動する(雨天時は4階)。安全が確認でき次第、3階の音楽室や図工室に移動する。 各係は本部の指示のもとに非常時防災管理組織表の分担で動く。

## 【登・下校時に起きた場合】

自家用車	自宅に近い場合	・車を左側に寄せ、揺れがおさまるまで待つ。安全確認後、自宅に向かう。
	自宅と学校の中間地点	・車を左側に寄せ、揺れがおさまるまで待つ。安全確認後、地域防災拠点ないし広域避難場所等の避難場所に行く。
	学校に近い場合	・車を左側に寄せ、揺れがおさまるまで待つ。安全確認後、学校に向かう。
	津波の場合	・通行できる場合であれば、少しでも高台を目指す。その後、車を左側に寄せ、最寄りの高所に移動する。
スクールバス	・バスは道路左側に寄り、安全に停車する。学校からの連絡を待つ。 ・連絡が取れない場合：原則、学校に戻るが、不可能な場合、地域防災拠点か広域避難所を目指す。 ・乗務員及び児童生徒はバス内で待機する。 ・学校、保護者は地震発生時間からバスがどのバスポイント(近く)にあるかを見当をつける。GPSで現在地を検索する。 ・学校は各号車の所在地点を確認し、保護者へ通知する。 (右のとおり：一斉メール配信、学校携帯サイト掲示板、災害用伝言ダイヤルなど)	
	・バスの所在地点を確認後、職員が3名ずつに分かれてバスコースをたどり、児童生徒の安全確保に向かう。(自転車、徒歩など)その際、水分など必要なものを運ぶ。	
	津波の場合	道路が使える場合は、少しでも最寄りの高所に移動する。その後、車内で待機する。

※市立特別支援学校は、在籍児童生徒及びその保護者が避難する場所となっている。

【校外学習・遠足での対応】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として即時帰校し、健康観察及び安全確認を講じる。</li> <li>・速やかに学校に連絡する。場合によっては、所在地の官公署等と連絡を取る。</li> <li>・交通機関や道路事情で帰校が危険と判断される場合は、地域防災拠点広域避難場所や施設など安全な場所に避難する。(計画時に確認)</li> </ul>
【修学旅行など泊を伴う行事での対応】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所在地の災害対策本部の指示に従い、速やかに学校に連絡する。</li> <li>・現地医療機関と連携を取る。(計画時に確認)</li> <li>・行き帰りのバス移動中の場合は、その場の状況により、①施設に戻る、②最寄の安全な場所を探す、③高台に移動する、などの判断をする。状況によっては、車内待機もありえる。いずれにしても現地の災害対策本部の指示に従い、動けるようになったら帰校を目指す。</li> <li>・参加者の災害時用食料を持参する。(各クラスで保管しているコンテナ収容のものを荷物として持参)</li> </ul>

## 連絡手段

携帯電話・固定電話  
による通話 以外

【学校⇒保護者・外部へ】  
一斉メール配信  
学校携帯サイトの掲示板  
学校の災害用伝言ダイヤル

【保護者・外部⇒学校へ】  
学校HPへメール  
災害用伝言ダイヤル171

